

歩いて学ぶ憲法 六本木の戦争遺跡と麻布米軍基地

私たちが今立っているすぐ頭上を、巨大な軍用ヘリコプターが爆音をあげて毎日のように飛来しています。平和憲法をもつ日本の首都とは思えない光景です。婦人民主クラブ品川支部では、今年は周辺住民が常に危険にさらされている「麻布米軍基地」と「六本木の戦争遺跡」を訪ねます。歴史教育者協議会の東海林次男さんに案内をお願いしました。

記

集合日時：2017年10月8日（日） 10時

集合場所：千代田線「乃木坂」駅 5番出口 改札付近（表参道寄り）

案内：東海林次男さん

参加費：500円

解散：12時頃 「六本木」駅付近



主なコース

青山公園（ここでこの周辺の歴史を解説、麻布米軍ヘリ基地を監視）→ヘリ基地、星条旗新聞社を半周→国立新美術館・連隊兵舎旧歩兵第三模型・別館→旧歩兵一連隊跡地（東京ミッドタウン）



1967年4月、東京大学生産技術研究所の労働組合が春闘要求の一つとしてこの麻布米軍ヘリ基地の撤去の決議をあげました。今、国立新美術館と政策研究大学院大学のある場所は当時東大の研究所があり、隣接するこの米軍ヘリ基地のため構内は常時米軍の車両が往来し、ヘリの騒音もひどく、およそ学問・研究の自由すら守られない環境にあったからです。

その決議から50年、今なお米軍基地は存在し、周辺住民や勤労者に騒音被害や墜落の危険を及ぼしています。…（後略）

（2017年4月18日麻布米軍ヘリ基地撤去集会決議より）

参加連絡・問い合わせ FAX・電話03-3492-2337 豊田（なるべくFAXで）
当日は090-9684-9303 大木